（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	総括表	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	資料確認 本部：統括責任者 統括責任者補佐 事務員 市民体育館（本部） 支部：地区体育館 武道館・弓道場 東山公園管理センター 陸上競技場事務所 淀江運動公園事務所 各施設等巡視 計５１名
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認 以下の研修を実施された。 ７月　接遇研修
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	D	自主事業の広報等計画通りにできなかった。
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比　91.3%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、後期に集計する。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。

				第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものである。
	⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
	⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
	⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	陸上教室のみ実施。他の計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	市民の健康管理のための施設管理が行えている。
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	C	事業計画通り実施しているが、利用申込の方法などの課題がある。
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	自主事業が計画通りに実施できなかった。
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（10点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**	B	資料確認
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**	B	資料確認
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		経営状況分析については、後期に実施

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、自主事業、利用申込方法の改善など、いくつかの課題がある。	合計点 （５０）点/（９５）点 ×100＝（５２．６） 平均点 （２．６）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	―	―	―	各施設の表に記載
施設利用者数	３０６，４９８人	３３５，４０１人 （２２９，７３５人）	－２８，９０３人 ９１．３（%）	

※（　　）内は休止期間を除いた４～７月の人数

※2　事業収支

（1）収　入　　（単位：千円）

項　　目	本年度〔平成２９年４～７月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
指定管理料	７４，９１３	５７，２９０	＋１７，６２３ １３０．７（%）	２８年８・９月が業務休止期間だったため。
施設使用料	１８，７１５	１０，６４３	＋８，０７２ １７５．８%	
合　　計	９３，６２８	６７，９３３	＋２５，６９５ １３７．８（%）	

（2）支　出　　（単位：千円）

項　　目	本年度〔平成２９年４～７月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	４７，２９３	３８，９５２	＋８，３４１ １２１．４（%）	２８年８・９月が業務休止期間だったため。
管理運営費	４６，３３５	２８，９８１	＋１７，３５４ １５９．８（%）	

（うち委託料）	２，５６６	２，４１５	＋１５１ １０６．２（%）	
合　　計	９３，６２８	６７，９３３	＋２５，６９５ １３７．８（%）	

※3　経営状況分析指標

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	備　　考
①事業収支	０	０	±０	
②利用料金比率	１９．９（%）	１５．６（%）	＋４．３ポイント	
③人件費比率	５０．５（%）	５７．３（%）	－６．８ポイント	
④外部委託費比率	２．７（%）	３．５（%）	－０．８ポイント	
⑤利用者当たり管理コスト	３０５円	２９５円	＋１０円 １０３．３（%）	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	２４４円	２４９円	－５円 ９７．９（%）	

①事業収支：（収入－支出）

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：（利用料金収入/収入）

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：（人件費/支出）

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：（外部委託費合計/支出）

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：（支出/延べ利用者数）

利用者１人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：（指定管理料/延べ利用者数）

利用者１人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

個別施設の評価表に記載

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（1）市民体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 109.3% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査 利用率も高水準であり、市の拠点体育館としての施設の効用を十分に発揮している。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、毎月市民体育館で行われている施設利用の抽選会について方法の改善の必要がある。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１４９日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	２２，３０１人	２０，３９３人	＋１，９０８人 １０９．３（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １４９日／１４９日	１００% １４９日／１４９日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，２８３，５５６円	１，２１９，７２０円	＋６３，８３６円 １０５．２（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（２）東山体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 83.2% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載

	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査・資料確認 接客・対応は適切である。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 利用率も高水準であり、市民の健康増進のための施設として効用を発揮している。 市民体育館のサブアリーナとしても使用されている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好と思われる。市民体育館のサブアリーナとしても機能している。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１４９日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	１０，０５２人	１２，０６８人	－２，０１６人 ８３．２（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １４９日／１４９日	１００% １４９日／１４９日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５８４，０７０円	６３５，０２０円	－５０，９５０円 ９１．９（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（３）住吉体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 99.6% 施設稼働率 100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好と思われる。 施設が老朽化し耐震基準も満たしていないため、平成３０年度には改築する。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　A	前年度〔平成２８年４～９月〕　B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１５０日	－1日 ９９．３（%）	
施設利用者数	７，９９６人	８，０２７人	－３１人 ９９．６（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １４９日／１４９日	１００% １５０日／１５０日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　A	前年度〔平成２８年４～９月〕　B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５２２，７５０円	５４０，４４０円	－１７，６９０円 ９６．７（%）	実績減

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（４）加茂体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比　90.5% 施設稼働率　99.3%
⑵利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査 利用率も高水準であり、市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好と思われる。 隣接する河崎公園スポーツ広場と合わせて多くの市民に利用されている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１５６日	－7日、９５．５（%）	
施設利用者数	８，５２９人	９，４１８人	－８８９人 ９０．５（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９９．３% １４８日／１４９日	１００% １５６日／１５６日	－０．７ポイント	
事業開催数	―	―	―	

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５００，０３０円	５９１，２２０円	－９１，１９０人 ８４．５（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（５）南部体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比　99.9% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好と思われる。 高校の部活動や地域住民のスポーツ活動に広く利用されている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１５０日	－１日 ９９．３（%）	
施設利用者数	８，６２９人	７，６８７人	＋９４２人 ９９．９（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １４９日／１４９日	１００% １５０日／１５０日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５９３，３９０円	５７６，７５０円	＋１６，６４０円 ８６．４（%）	実績減

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（６）弓ヶ浜体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比　108.4% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好である。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１５０日	－１日 ９９．３（%）	
施設利用者数	６，９５６人	６，４１６人	＋５４０人 １０８．４（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １４９日／１４９日	１００% １５０日／１５０日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５３８，９７０円	５６９，５７０円	－３０，６００円 ９４．６（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年６月〕

施設名	（７）美保体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 101.4% 施設稼働率 100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 体育館の立地的に市の外周部に位置し、利用者数は地区体育館の中で最も少ないが、地域住民だけでなく隣接する美保中学校のバドミントンの部活動にも使われるなど有効に使われている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１５０日	－１日 ９９．３（%）	
施設利用者数	６，１３６人	６，０５１人	＋８５人 １０１．４（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １４９日／１４９日	１００% １５０日／１５０日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	４４０，３８０円	４８４，８５０円	－４４，４７０円 ９０．８（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年６月〕

施設名	（８）福米体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成２９年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比　92.9% 施設稼働率　100%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好である。 指定管理者の原因によるものではないが、施設が老朽化しており雨漏りが発生し利用者に迷惑を掛けているが、安全に配慮して管理している。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１５０日	－１日 ９９．３（%）	
施設利用者数	７，６０５人	８，１８１人	－５７６人 ９２．９（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １４９日／１４９日	１００% １５０日／１５０日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	６６５，３００円	８７０，２６０円	－２０４，９６０円 ７６．４（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（９）福生体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 98.0% 施設稼働率　100%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好である。 利用者数は上半期で１０，０００人を上回り、地区体育館としては高水準であり、多くの地区住民等に利用されている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１５０日	－１日 ９９．３（%）	
施設利用者数	１０，５１０人	１０，７２４人	－２１４人 ９８．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １４９日／１４９日	１００% １５０日／１５０日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	６８１，９１０円	７０１，３１０円	－１９，４００円 ９７．２（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（１０）湊山体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 108.2% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好である。 地域住民だけでなく、近隣の湊山中学校のバレー、バスケット、バドミントンなど中学、高校の部活動などにも広く使われている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１５０日	－１日 ９９．３（%）	
施設利用者数	１０，０７５人	９，３１０人	＋７６５人 １０８．２（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １４９日／１４９日	１００% １５０日／１５０日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５５４，６２０円	６０６，１６０円	－５１，５４０円 ９１．４（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（１１）箕蚊屋体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 106.4% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 管理内容は概ね良好である。 上半期の利用者数は１２，０００人を超えており、地区体育館としては最も多い人数である。 一般団体のほか、春日、巌、大高、県の公民館利用、松蔭高校、箕蚊屋中学の部活動など幅広く利用されている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１５０日	－１日 ９９．３（%）	
施設利用者数	１２，２７４人	１１，５２８人	＋７４６人 １０６．４（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １４９日／１４９日	１００% １５０日／１５０日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	６３２，４１０円	６６１，５５０円	－２９，１４０円 ９５．５（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（１２）米子市営弓道場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 95.0% 施設稼働率 100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	前年度から管理人の常駐を廃止し、市民球場で受付業務をおこなっている。 回数券の有効期限の延長、使用料の割引など独自の工夫をおこなっている。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 利用者は弓道競技者に限られ、一般利用者に比べ高校、中学の部活動での利用の割合が多い。 前年度から管理人の常駐を廃止し、隣接する市民球場を受付窓口としている。 料金面で回数券の有効期限の延長や使用料の割引など独自の工夫をおこなっている。	合計点 （３０）点/（４０）点 ×100＝（７５．０） 平均点 （３．７５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００．０（%）	
施設利用者数	８，５８１人	９，０３１人	－４５０人 ９５．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １８３日／１８３日	１００% １８３日／１８３日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	４２２，９９０円	４５２，９１４円	－２９，９２４円 ９３．３（%）	

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（１３）米子市営武道館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 47.6% 施設稼働率　100.0%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	前年度から管理人の常駐を廃止し、市民体育館で受付業務を行っている。回数券の発行、使用料の割引など独自の工夫を行っている。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査・資料確認 市主催の柔道、剣道教室をはじめ多くの武道愛好家に活用されており、武道振興の役割を果たしている。
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 柔道、剣道をはじめ空手、居合、太極拳など多くの武道愛好家に利用されている。 前年度から管理人の常駐を廃止し、受け付けは市民体育館で行い、維持管理は巡回班が行っている。 料金面で回数券の発行や使用料の割引など独自の工夫を行っている。	合計点 （３０）点/（４０）点 ×100＝（７５） 平均点 （３．７５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１４９日	±０日 １００．０（%）	
施設利用者数	４，９７１人	１０，４２５人	＋５，４５４人 ４７．６（%）	実績減
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００．０% １４９日／１４９日	９９．３% １４８日／１４９日	＋０．７ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	３８１，０００円	３９７，２６０円	－１６，２６０円 ９５．９（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（１４）米子市淀江体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 98.8% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 体育館としては市民体育館に次ぐ利用人数であり、一般利用や部活動のほか、各種スポーツの大会会場として広く使用されている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１５０日	－１日 ９９．３（%）	
施設利用者数	１３，８４３人	１４，００６人	－１６３人 ９８．８（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １４９日／１４９日	１００% １５０日／１５０日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	６２８，５４０円	６５４，０９０円	－２５，５５０円 ９６．０（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（１５）米子市営淀江球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 63.4% 施設稼働率　51.3%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 全面土のグラウンドであり、市民球場、湊山球場と異なり芝生の養生のための休止期間はない。年度の上半期の利用率は５割ほどだが、冬季の利用がほぼないため、通年の利用率は３割ほどになる。野球場としての施設の性格を考えればやむを得ないと考える。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００．０（%）	
施設利用者数	５，３７０人	８，４６９人	－３，０９９人 ６３．４（%）	実績減
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５１．３% ９４日／１８３日	５３．５% ９８日／１８３日	－２．２ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，１３２，１８０円	８５２，３９０円	＋２７９，７９０円 １３２．８（%）	実績増

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（１６）米子市営淀江庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 106.7% 施設稼働率 55.7%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 淀江中学校のテニス部の部活動のほか一般の個人利用が中心である。 管理内容は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	２，３５７人	２，２０７人	＋１５０人 １０６．７（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５５．７% １０２日／１８３日	５７．３% １０５日／１８３日	－１．６ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	０円	０円	±０円 １００（%）	個人使用のみ 使用料金なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（１７）米子市営淀江スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比　99.9% 施設稼働率　96.1%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 ４月～１１月の間はナイターの利用も含め、野球、ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフなどの利用に幅広く使われている。 管理内容は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 、１００（%）	
施設利用者数	８，４０６人	８，４１３人	－７人 ９９．９（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９６．１% １７６日／１８３日	９７．８% １７９日／１８３日	－１．１ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	２３２，２００円	５７，２４０円	＋１７４，９６０円 ４０５．６（%）	照明使用料の実績増

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（１８）米子市営大和公園運動広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 96.1% 施設稼働率　59.0%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 地域のグラウンドゴルフのサークルに盛んに利用されている。 管理内容は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３，５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日　、１００．０（%）	
施設利用者数	１，９７１人	２，０５０人	－７９人 ９６．１（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５９．０% １０８日／１８３日	５９．５% １０９日／１８３日	－０．５ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料金の設定なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（１９）米子市営東山陸上競技場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 92.9% 施設稼働率　98.3%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 鳥取市にある第１種公認の県営陸上競技場に次ぐ県内唯一の第２種公認の陸上競技場であり、中国大会レベルの大会まで開催可能。部活動、一般利用のほか、県内の大会も多く開催されており、陸上競技の振興に役割を果たしている。 管理内容は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３，５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	３２，９１２人	３５，４０３人	－２，４９１人 ９２．９（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９８．３% １８０日／１８３日	９８．３% １８０日／１８３日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	３６０，８９０円	２８０，９８０円	＋７９，９１０円 １２８．４（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

試合時に近隣住民から応援の音が騒がしいとの苦情があり、法令等の違反にはならないが、鳴り物での応援を自粛してもらった。

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（２０）米子市営東山補助グランド	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 98.3% 施設稼働率 30.6%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 本来の施設の設置目的は陸上競技場のサブトラックだが、ゲートボール、ソフトボールなどにも使用されている。 利用率は高くはなく、雑草が繁茂しやすい状況だが、除草等適切にグラウンド整備を行っている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３，５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	１１，６５６人	１１，８５４人	－１９８人 ９８．３（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	３０．６% ５６日／１８３日	３２．２% ５９日／１８３日	－１．６ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料設定なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（２１）米子市営東山球技場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 94.3% 施設稼働率 27.3%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 サッカー、ラグビーの高校総体、中学総体、サッカーの高円宮杯など公式戦を中心に利用されている。１２月から翌年５月にかけて休止期間があり、大会利用等に利用を限るなど芝生の養生のための使用制限があるため、施設としての利用率は高くないが、競技振興の役割を果たしている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３，５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００．０（%）	
施設利用者数	４，９７１人	５，２７０人	－２９９人 ９４．３（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	２７．３% ５０日／１８３日	２４．０% ４４日／１８３日	＋３．３ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	３０８，１７０円	２７３，６１０円	＋３４，６５０円 １１２．６（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（２２）米子市民球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 75.0% 施設稼働率 85.2%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 県西部の野球競技の拠点施設として多くの大会等に利用されている。 管理内容は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００．０（%）	
施設利用者数	１３，２３３人	１７，６２７人	－４，３９４人 ７５．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	８５．２% １５６日／１８３日	６６．６% １２２日／１８３日	＋１８．６ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	２，２４７，０９０円	２，１６５，２０５円	＋８１，８８５円 １０３．７（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（２３）米子市営東山庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 87.8% 施設稼働率　100.0%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 体育館も含めた市の体育施設の中で２番目に多い利用者数であり、利用料金収入は最も多い。 日中、ナイターと多くのテニス愛好家に利用されており、競技の振興に役立っている。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	３１，５０１人	３５，８４８人	－４，３４７人 ８７．８（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００．０% １８３日／１８３日	９７．８% １７９日／１８３日	＋２．２ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	５，６６６，５６０円	５，９８５，６００円	－３１９，０４０円 ９４．６（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（２４）米子市営東山スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 96.4% 施設稼働率 79.7%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 ソフトボール、グラウンドゴルフを中心に大会、一般利用で使われている。 冬季を除き利用率は高い。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	１４，６８５人	１５，２３２人	－５４７人 ９６．４（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	７９．７% １４６日／１８３日	９１．２% １６７日／１８３日	－１１．５ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	３２４，０００円	３７８，０００円	－５４，０００円 ８５．７（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（２５）米子市営湊山球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年　63.8% 施設稼働率　49.7%
⑵利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 スポーツ少年団、一般団体等の軟式野球の大会、練習で使用されている。 大会会場として一定の役割は果たしているが、市民球場、淀江球場と比較すると利用者数は少ない。 管理状況は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １１５．０（%）	
施設利用者数	３，３０１人	５，１６７人	－１，８６６人 ６３．８（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	４９．７% ９１日／１８３日	５７．３% １０５日／１８３日	－７．６ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	３８２，２３８円	３７３，０２０円	＋９，２１８人 １０２．４（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（２６）米子市営湊山庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
⑵職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
⑶利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
⑴利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比111.0% 施設稼働率　71.5%
⑵利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 個人使用については使用料が無料であり、リピーターを中心に利用され、テニス競技の振興に一定の役割を果たしている。 管理状況は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	３，８７３人	３，４８７人	＋３８６人 １１１．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	７１．５% １３１日／１８３日	７４．８% １３７日／１８３日	－３．３ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	０円	３，１５０円	－３，１５０円 （%）	２９年度は個人使用のみで使用料なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（２７）米子市営日野川運動公園	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 73.4% 施設稼働率 48.0%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 国土交通省から占用の許可を得て供用している。 グラウンドの面積が多く、使用料も無料のため気軽に利用でき、野球、サッカー、ラグビー等の大会、一般利用で多くの市民に使用だれている。 管理状況は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況　（野球場Ａ～Ｅ）

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	９１５日	９１５日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	１６，５４９人	１３，３１４人	＋３，２３５人 １２４．２（%）	実績増
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５５．１% ５０５日／９１５日	５２．４% ４８０日／９１５日	＋２．７ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※1　利用状況　（サッカー・ラグビー場）

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	４，２８０人	９，９６５人	－５，６８５人 ４２．９（%）	実績減
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５５．７% １０２日／１８３日	６３．３% １１６日／１８３日	－１７．０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※1　利用状況　（少年野球場）

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	１，８６６人	３，５１０人	－１，６４４人 ５３．１（%）	実績減
施設稼働率＝利用日数／開館日数	３３．３% ６１日／１８３日	３３．３% ６１日／１８３日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料設定なし

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年４月〕

施設名	（２８）米子市営日野川堰運動広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比　65.0% 施設稼働率　89.0%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 日野川運動公園と同様に国土交通省の占用許可を受けて供用している。 利用者の大半はグラウンドゴルフであり、多くの愛好家に使用されている。 管理状況は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	６，５０８人	１０，０１０人	－３，５０２人 ６５．０（%）	実績減
施設稼働率＝利用日数／開館日数	８９．０% １６３日／１８３日	８４．６% １５５日／１８３日	＋４．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料設定なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２９年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成３０年６月〕

施設名	（２９）米子市営河崎公園スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	陸上教室、ノルディック・ウォーク教室、ノルディック・ウォーク大会	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか		総括表に記載
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか		総括表に記載
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		総括表に記載
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 108.2% 施設稼働率　81.9%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか		総括表に記載
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ

				迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		総括表に記載
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか		総括表に記載
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか		総括表に記載
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		総括表に記載
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 加茂体育館に隣接している野球グラウンドであり、野球、ソフトボールなどに使用されている。 管理状況は概ね良好。	合計点 （２８）点/（４０）点 ×100＝（７０．０） 平均点 （３．５）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	３，５９５人	３，３２１人	＋２７４人 １０８．２（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	８１．９% １５０日／１８３日	９３．４% １７１日／１８３日	－１１．５ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２９年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２８年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	２０２，３５０円	２０６，９１０円	－４，５６０円 ９７．７（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計